

授業科目名	教養講義（世界史概論）	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科に関する科目（地歴・社会）					
サブタイトル	世界史の基礎を学ぶ		担当者	鈴木 亨尚		
講義概要	<p>【概要】世界史の概要について検討する。講義の中心は、ヨーロッパに関するものになる。その一方で、可能な限り、ヨーロッパとアジア・アフリカとの関係や、世界史と日本史との関係に関心を配りたいと考えている。</p> <p>授業は、まず、各単元の講義をし、問題演習を行う。さらに、翌週の授業で、小テストを行う、という形で進行する。</p> <p>【到達目標】世界史の基礎を理解し、定期試験で最低でも 60 点がとれるようになること。</p>					
履修条件	特になし。					
教科書・参考書	<p>【教科書】特になし。当方で、レジュメを用意する。</p> <p>【参考書】特になし。</p>					
授業回数	内容					
1	文明のおこり					
2	小テスト(文明のおこり)、ヨーロッパ人との出会いと天下統一					
3	小テスト(ヨーロッパ人との出会いと天下統一)、ヨーロッパの近代化					
4	小テスト(ヨーロッパの近代化)、欧米の進出と日本の開国					
5	小テスト(欧米の進出と日本の開国)、明治維新					
6	小テスト(明治維新)、近代日本のあゆみ					
7	小テスト(近代日本のあゆみ)、日清・日露戦争					
8	小テスト(日清・日露戦争)、近代産業の発達					
9	小テスト(近代産業の発達)、第一次世界大戦とアジア・日本					
10	小テスト(第一次世界大戦とアジア・日本)、第二次世界大戦とアジア					
11	小テスト(第二次世界大戦とアジア)、日本の民主化と国際社会への参加					
12	小テスト(日本の民主化と国際社会への参加)、国際社会と日本					
13	小テスト(国際社会と日本)、まとめ(1)授業 1～4 回分					
14	まとめ(2)授業 5～8 回分					
15	まとめ(3)授業 9～12 回分					
評価方法	小テスト 50 点、定期試験 50 点。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できたものには A を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて B または C とし、単元の内容についての理解自体が不十分なものはその程度に応じて D または E とする。					
その他	特になし。					